

1 国語

科目名	古典A	単位数	2 単位	学年	第 2 学年	科 コース	普通科 一般教養コース
使用教科書	標準古典A物語選 (第一学習社)			副教材		教師作成プリント	

学習の到達目標

1. 「古典」主に古文を読み・触れることによって、自国の文化や伝統に対する関心・理解を深める。
2. 古典の言語文化を正しく継承して現代に活かし、生涯にわたって古典に親しみ、人間性を豊かにする態度を養う。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	説話『十訓抄』 文字一つの返し 月の異名・旧国名	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開を理解し、確実に読み解く読解力を身に付けさせる。 ・登場人物の立場と状況を読み取り、どのような思いで何をしたか理解させる。 ・話の構成や展開を理解し、大意把握から細部の検討に至る読解の方法を身に付けさせる。 ・和歌を中心とした説話で、中古の人々にとって和歌がいかに大切かを考えさせる。 ・歌物語における和歌の役割と位置づけについて考えさせる。 ・詠歌に心を動かされるなど、和歌の持つ力について考えさせるとともに、段末注記の意味について理解させる。
	5	文学史(奈良・平安・鎌倉時代) 説話『古今著聞集』 小式部内侍が大江山の歌の事	
	6	物語『伊勢物語』 通ひ路の関守	
	7		
二 学 期	9	物語『大和物語』 姥捨 竹取物語 冒頭部分	<ul style="list-style-type: none"> ・地方を舞台にした古伝承や民間説話に触れ、それぞれの間人像を考察させる。 ・登場人物の心情の推移・和歌に込めた思い・その後の行動などを留意させ、地名起源説話の面白さを理解させる。 ・和漢混交文の特色や写実的描写による作者の観察の細やかな点に注意させる。 ・対句及び対句的表現を整理しその意味を考え、論理的な構成と文体の変化に富むリズムに触れて理解させる。 ・日本文学史の伝統的な特色「自然美」に注目し、作者の美的感覚や対象の選択及び整理の仕方を考えさせる。 ・ものづくし章段で作者独自のものの考え方・感じ方を考え、作品の背景や成立事情を理解させる。
	10	随筆『方丈記』 ゆく川の流れ	
	11		
	12	随筆『枕草子』 春は、あけぼの	
三 学 期	1	物語『大鏡』 延喜の帝	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語としての大鏡の特徴を理解させ、面白さに触れさせる。 ・醍醐天皇の人柄や夏山繁樹の語りという形で書かれていることに注意し、文章の構成や文体を把握させる。 ・自照文学として紫式部の心のあり方に注目させ、環境描写から内面描写へと深まる点について考えさせる。 ・後宮女房として暮らす中で作者の処世訓を知り、どのような人柄であったかを理解させる。 ・日記に表れる浪漫的性格や物語性を十分に読み考えさせる。 ・作者のものの見方・感じ方・考え方を学び、現代と比較して学習者自信の生き方・ものの見方・考え方を深めさせる。
	2	日記『紫式部日記』 日本紀の御局	
	3	日記『更級日記』 門出	

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する